

印西大師 第12番 小倉・宝珠院観音堂（光堂）

1 名称 (No.012)〔手引鏡：光堂〕〔資料館：光堂〕〔行程表：光堂〕

2 場所 印西市小倉1138 宝珠院観音堂（ほうしゅいんかんのどう）

泉倉寺から道程約150m、小倉の堂から道程約280m（徒歩で階段経由なら120m）

GPS座標 35.81974830561933, 140.11717608880858

3 由緒 天台宗

宝珠院は貞観年間（859年～877年）開基と伝えられる古刹ですが、現在はこの観音堂のみです。正面側面ともに三間の堂で、屋根は茅葺寄棟造です。正面には両開きの棧唐戸があり、周囲に切目縁をめぐらしています。柱はすべて円柱で、内部は後部2間が内陣、前部1間が外陣という構造になっています。栄福寺薬師堂と構造形式が似ています。この堂は、禅宗様式の影響を受け細部の造りは簡素化されていますが、内部の須弥壇、厨子、天井や壁上部の組物の一部にも美しい色彩装飾が施されていて、通称「光堂」と言われています。昭和28年から29年の解体修理によって、厨子内に永禄6年（1563）の墨書銘が発見され、厨子の制作時期が判明しました。堂の建立も構造的特徴から、ほぼ同時期と推定されます。（印西市HPより）

4 御堂 大師堂の中に丸彫の御大師様が1体あり。造立年の銘文なし。

5 境内 光堂のほか、観音杉があります。参道の階段は小倉の堂へ続いています。

6 写真 (2019.07、2023.01撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



観音堂(光堂)



観音堂(光堂)の屋根の葺替作業



観音堂(光堂)の屋根の葺替作業

7 情報

(1) 印西大師 第12番 光堂 御詠歌（泉倉寺本による）

後の世を思へば恭敬(くぎょう)焼山寺 死出や三途の難所ありとも

四国八十八ヶ所 高野山真言宗 第12番 摩盧山(まろざん) 正寿院 焼山寺(しょうさんじ)

本尊 虚空蔵菩薩 (徳島県神山町) 写し

(2) 宝珠院観音堂 (ほうしゅいんかんのんどう)

昭和28年(1953年)から昭和29年(1954年)の解体修理によって、厨子内に永禄6年(1563年)の墨書銘が発見され、厨子の製作時期が判明しました。観音堂の建立も構造的特徴から、ほぼ同時期と推定されます。閑静で長い石段の境内にあり、正面三間、側面三間の茅葺きの屋根が建物の中心から下がる形態の寄棟造の堂です。内部は後部二間が内陣（仏を祀った最も奥の一画）前部一間が外陣という構造になっています。内部の須弥壇、来迎柱、天井の一部に美しい色彩装飾が施され、通称「光堂（ひかりどう）」とも呼ばれています。（千葉県公式観光物産サイト）

(3) 宝珠院

小倉村字三門口にあり天台宗延暦寺派にして泉倉寺末なり 阿弥陀如来を本尊とす 由緒不詳 檀徒153人（印旛郡誌）

2024.02一部更新